

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスみかん稲葉荘		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	卒業生の保護者様との繋がりも継続しており、卒業生保護者様を交えた茶話会などのイベントを実施しています。保護者様との繋がりを大切に、子どもたちの個性を大切に開かれた店舗運営を行っています。	保護者様向けの自由参観で様子を見て頂き、ご意見を頂いたり、新規のご見学時や参観では保護者様もお子様と一緒にイベントプログラムを体験して頂くこともあります。保護者様とも楽しい時間を過ごすことで職員一人一人の個性も感じて頂ければと考えております。保護者さまにご安心頂き、お子様にも安心して楽しい放課後の居場所を提供できるよう工夫しています。	保護者同士、職員、他の子ども達の交流の場を増やしていきたいと考えています。茶話会の企画、自由参観日などの機会を増やせるよう検討しています。
2	個々の得意な事や興味関心に合わせたプログラム作りを心掛けており、様々な楽しいプログラムを職員、子ども達のアイデアをもとにプログラムを充実させております。また地域の方や、ご近所の方と関りをもてるようなイベントを企画し実施しております。専門職が在籍しており、様々なアドバイスのもとに支援を行っています。	あそびや学びから『喜び』を沢山体験して頂けるような様々なプログラムを職員全体で立案しております。公園遊びや運動療育も取り入れ専門支援員による体作りも行っています。日常の中で楽しく学べる工夫や『できた！』『楽しい！！』を体感できる支援を心掛けています。保護者様や地域ボランティアさんによる子供向けワークショップなども開催しています。	自己選択により参加できるプログラム(クラブ活動)を充実させて児童の興味の幅を広げ、自己決定を促し生きる力を育みたいと考えています。様々な経験ができるように保護者様や地域ボランティアさんによるワークショップや地域資源を活用したお出かけなども充実させていきたいと考えています。
3	児童一人ひとりに寄り添った個別支援を行い、成長の機会を大切にしています。	児童の発達段階や個性に応じた支援を計画し、実施しています。職員間でのケース会議を定期的に行い、より良い支援の提供を心掛けています。	個別支援の充実を図るため、保護者との定期的な面談やフィードバックを強化し、児童の成長を共有する機会を増やします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域小学校への送迎がひっ迫しており、ご利用希望の受け入れにお応えできないことがあります。	職員体制や送迎車両の限界がございます。	職員体制の充実と送迎については同じ事業所内の他店との助け合いやアドバイスのもと改善できる点を考えていきます。
2	居室が1階、2階とわかれているため階段移動に最善の注意を払う必要があります。	プログラムにより居室移動があるので階段昇降の機会が多いです。	階段の昇降時は児童も職員も安全に細心の注意を払う習慣を身につけ、時間差で移動するなど団体で階段移動を行わない工夫や必要に応じて手すりの取り付け、安全対策の見直しを行っています。
3	父母会やペアレントトレーニングの開催などが未達成です。	どのような活動ができるか店舗内で思案するところにとどまり未達成となっています。	事業所内や他事業所などから情報収集し、ご希望により実施できるよう検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスみかん稲葉荘

公表日 2025年2月28日

利用児童数 32人

回収数 20

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	0	0	3	以前の場所では適切でした。新しくなって訪問の機会がありましたが、こちらの都合でまだ訪問できておりませんので「わからない」とさせていただきます。	訪問の機会がない方には、店舗通信での紹介やオンライン配信などでご利用者様にご理解頂ける形を考えていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1	0	4	以前の場所では適切でした。新しくなって訪問の機会がありましたが、こちらの都合でまだ訪問できておりませんので「わからない」とさせていただきます。	面談時、または個別にてご連絡し詳細をご説明して安心頂けるよう対応していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	0	3	以前の場所では適切でした。新しくなって訪問の機会がありましたが、こちらの都合でまだ訪問できておりませんので「わからない」とさせていただきます。	訪問の機会がない方には、通信やオンライン配信などでご利用者様にご理解頂ける形を考えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	17	0	0	3	以前の場所では適切でした。新しくなって訪問の機会がありましたが、こちらの都合でまだ訪問できておりませんので「わからない」とさせていただきます。	訪問の機会がない方には、通信やオンライン配信などでご利用者様にご理解頂ける形を考えていきます。また保護者様のご要望を聞き取り、今後も環境整備に努めていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	0	0		引き続き、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を継続していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	0		引き続き、事業所の支援プログラムが提供する支援内容と合致するよう、適切に運用していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1	0	0		引き続き、こどもの特性や保護者のニーズを客観的に分析し、個別支援計画の作成を行っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	0		引き続き、放課後等デイサービスガイドラインに基づいた適切な支援内容を設定し、支援を実施していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		引き続き、個別支援計画に沿った支援を実施していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1	0	1		引き続き、事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫を継続していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	1	9	特になくともいいです。	交流できる機会を検討していきます。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	1		引き続き、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0		引き続き、個別支援計画を示しながら支援内容の説明を実施していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	0	5	日頃から丁寧に寄り添ってくださるので研修会など必要と思ったことがないです。	ご希望により研修の機会を検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18	1	0	1		引き続き、こどもの健康や発達の状況について、保護者との共通理解を深められるよう支援を行います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	0	1		引き続き、定期的な面談や子育てに関する助言等の支援を実施していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0		引き続き、職員が共感的な支援を継続していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	6	2	7	保護者同士の交流はあってもなくてもどちらでもいいので気にしていません。 保護者の交流はないと思います。一人の為、兄弟児で来ていたので、保護者様のご希望により交流できる機会を増やせるよう検討していきます。	今年度は茶話会や自由参観の機会を設け発信させて頂きました。年に1回という事もあり周知ができていませんので、保護者様のご希望により交流できる機会を増やせるよう検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	1		引き続き、こどもや家族からの相談や申入れに対応できる体制を整え、周知・説明を行い、迅速かつ適切に対応していきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0	引き続き、子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	2	引き続き、通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1	0	0	引き続き、個人情報の取扱いに十分留意して対応していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	2	引き続き、事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアル等を策定し、保護者への周知・説明を継続していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1	0	3	引き続き、非常災害発生時に備えた避難・救出等の訓練を定期的に実施していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	1	引き続き、子どもの安全を確保するための計画を周知し、安全を確保した上で支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	2	0	3	引き続き、事故発生時には速やかに連絡を行い、状況の説明を適切に行っていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	引き続き、子どもが安心感をもって通所できるよう、職員間で連携を取りながら支援を行います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	2	0	0	二人共いつも楽しみに通っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	得意を伸ばし自信を培い、苦手な事や初めてのことにチャレンジしていく力を育てて『楽しい！』『できた！』という経験を今後も積んでいただけるよう支援を行います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスみかん稲葉荘		公表日		2025年2月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	成長に合わせて小集団で過ごしていただけるよう、定員に合わせた居室を確保しています。	高校生と小学生が在籍しているので、イベントや集団活動時はぶつかりそうになることがあるので、動きが激しくなる時は、居室を分かれたり、個性に合わせた個別プログラムを提供していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	既定の職員配置として責任者、児童指導員、専門支援員を配置しています。基本人員に加え配置基準外の支援員も配置して支援にあたっています。	短縮時や地域小学校の夏期時間により送迎がひっ迫することがあり送迎人員や車両が不足します。送迎についてはご家族様にもご協力頂きながら、安全に皆様へ満足頂ける方法を今後も見直し改善できるよう努めて参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	成長に合わせて、『場所』『時間』『活動』などが視覚的にわかるよう表示している。伝達手段のアイテムとして絵カードもしようしている。各居室はバリアフリーとなっており、特性に応じた環境づくりを心がけています。	店舗内に階段があるので、転落防止ネットなどを取り付けている。階段の昇降時には人数制限を行うなど階段での事故防止について今後も意識して支援を行っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	個別・運動・あそび・各活動に合わせ、フレキシブルに対応できる空間づくりをしています。個室を完備、集中できる環境を整えています。室内は毎日換気、清掃、消毒を行っています。空気清浄機も設置しております。	より快適に過ごしていただけるよう、成長に合わせて環境整備に努めて参ります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	課題や作業に集中できるスペース、安心してリラックスできるスペースとして個室を利用しています。	児童の希望または配慮が必要な時に使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	店舗会議、毎朝のミーティング、業務日誌の記入により、職員間の意見交換を活発に行い、実行した計画の振り返り、見直しをおこなっています。	参加できる職員と参加できない職員があり、意見が偏らない用、参加できない職員からのご意見も事前聞き取りを行い反映していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	保護者の意見をもとに業務改善は行い意見交換を行っていますが、全員の意見聞き取りなどが出来ないときがある。	今後は全職員への周知徹底の方法を考えていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	店舗会議、毎朝のミーティング、業務日誌の記入により、職員間の意見交換を活発に行い、実行した計画の振り返り、見直しをおこなっています。	月に数回の勤務の方、ドライバーの方にも情報の周知徹底が行えるよう工夫していきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6	事業所内での改善活動は行っているが第三者の外部評価は未実施である。	信頼されるサービスを提供していくためにも第三者の外部評価メンバーについて具体的に検討し事業所の指示を仰いでいきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	社内全体研修、外部研修に参加している。療育・支援に対する研修動画を使用し、職員各自で学ぶ機会を作っている。店舗内の専門支援員による療育についての研修も行っています。	今後も資質向上を目指し、専門的なスキルを伸ばしていくとともに、職員の人間力を深めるための研修を実施していきたいと考えています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	季節ごとの様々なイベント、クッキング、ハイキングや公園、お出かけを積極的に行い、子どもたちの興味や成長欲求に合わせたプログラムを立案している。	ブログや店舗通信にて発信しています。今後はホームページなどで公表を行っていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	日々の評価表をもとに半年ごとにモニタリングを行い、保護者様にお伝えしアセスメントを行い計画の見直しを行っています。	多様な保護者様に関しては、計画見直しの時期がすれこまないよう早めにモニタリング面談が行えるよう配慮していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	計画作成前に前回の計画についての評価や意見を職員全員に求めています。日々の評価表には支援計画の目標にあった課題設定やねらいがわかるよう記載し、当日の担当職員が評価をすることで支援計画への共通理解が深まっています。	今後も職員の共通理解の徹底を目指し支援をおこなっていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	計画書は各自が目を通しています。計画に沿った支援が行えているか、日々の個別評価表に記載している。	今後も職員の共通理解の徹底を目指し支援をおこなっていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	計画書、アセスメントは各自がいつでも目を通せるようにしています。計画に沿った支援が行えているか、日々の個別評価表に記載しています。	連絡帳にて保護者様には日々のご様子を毎日お伝えしているが、評価表の記入が指導員の仕事が多岐にわたり当日に書けることがある。業務配分を工夫して評価表の記入も当日に行っていくよう工夫していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2	支援計画に具体的な支援内容も記載させて頂いております。	支援内容が達成できるよう努めていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	各プログラム担当職員が指導案を立て、意見交換・検討を行い、チーム全体で取り組んでいる。	職員同士のコミュニケーションを大切にし、支援に関する意見交換を活発にして、当日の支援プログラムに生かせるようにしていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	季節ごとの様々なイベント、クッキング、ハイキングや公園、お出かけを積極的に行い、子どもたちの興味や成長欲求に合わせたプログラムを立案している。	今後も自然や文化、表現活動に触れ、様々な経験ができる取り組みを行っていきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	子どものニーズに合わせて個別、集団活動を組み合わせ計画を作成し、サービスを提供しております。	今後も継続して行っていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援前に打ち合わせを行っています。時差出勤の職員もわかるように一日の工程表や担当の割り振り、プログラム内容、注意事項の記載されたものを全職員で共有し確認できるようなシステムで連携を図れるよう努めています。	時差出勤により全員の理解が得られているかわからないときがあるので再確認を行う必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	必ずではないが気付いたことがある時は終了後にミーティングを行っている。	終了時間がシフトにより違うため全員の打ち合わせは難しいが、共有事項はLINE等で周知徹底しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	個別課題評価表に記入しています。内容により業務日誌に記載、またはLINEにて全職員で共有しています。	課題表の記入が当日に行えないことがあったり、特変がない時は未評価になることもあったので評価表記載の徹底を行い、支援の改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	2	半年ごとに職員や関係機関への聞き取り評価を行い、保護者面談の上、計画の見直しを行っています。	保護者様との日程調整が難しい時がございます。早めにお知らせするなどの配慮不足がありましたので気を付けていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	2	発達段階に合わせた動作を身に付け、様々な創作活動を通して自己表現の場を設けている。地域の方々と交流できるイベントなどを企画したり、自分自身で遊びを見つけたり、リラックスしたりできるような余暇の幅が広がる支援をおこなっている。	今後も多様性に応じた様々な活動を提供し支援を行っていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	日々の取り組みの中で、小さな選択肢を設け『自己選択』『自己決定』をする機会を設けています。	自己選択、自己決定する場合の選択肢の内容理解が難しい児童には、成長に合わせて分かりやすく伝えられるよう工夫していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2	サービス管理責任者が主に参加している、必要に応じて、他の職員も参加している。	今後も必要に応じて参加してまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3	共通問題がない場合は関係機関との連携が希薄になりがちなので、学校お迎え時に積極的に意見交換を行うようにしています。	今後は様々な関係機関との連携を視野に情報収集をおこなっていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	学校との連携、情報共有は送迎時に担任の先生と直接行うことができています。	学校送迎のない児童に関しては保護者様を通じて必要に応じて連携を取らせて頂いています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	必要に応じて相談支援員の方のご協力のもと情報収集を行っています。	今後も引き続き情報共有に努めて参ります
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	希望により情報をお伝えしております。	今後も引き続き情報共有に努めて参ります
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	8	現在はおこなっておりません。	今後、必要に応じて取り組んでいきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	現在はおこなっておりません。	交流の機会をつくれるよう地域の情報収集をおこなってまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3	積極的な参加ができていない状況です。	参加を検討し情報収集いたします。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	定期的に面談を行っていますが、必要に応じて電話や面談にてお話を伺っています。送迎時には当日の様子をお伝えし、詳細は連絡帳に記載し毎回お伝えしております。	今後も継続して行っていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	現在は実施できていません。	今後、必要に応じてどのような支援プログラムができるか検討していきます。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	3	主に契約時に説明し、ご理解を頂くようにしている。変更時には、直接またはお手紙にてお知らせしています。	請求書や代理受領書等、毎月配布しております。必要に応じて、改めて疑問点がないかの聞き取り、説明を実施していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	計画見直しの際に確認を取っております。	保護者さまだけのニーズに偏らない様に保護者様と話し合いながら児童のニーズについても確認してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	1	支援計画は計画書を配布し、確認頂き了承頂いています。	ご理解が深まるようより丁寧な説明を行っていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	定期的に面談を行っていますが、必要に応じて電話や面談にてお話を伺っています。送迎時には当日の様子をお伝えし、詳細は連絡帳に記載し毎回お伝えしております。	ご家族様からの発信以外に、日々の中でお悩み等の聞き取りを積極的におこなえるようにしていきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	3	父母会はございませんが、茶話会や自由参観の場を設け、保護者様同士が交流できる機会を作っております。	不参加の方が多くいらっしゃいましたので、沢山の方にご参加いただける方法を検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情が出た際は、真摯に受け止め迅速な対応とご安心頂けるよう改善点を提示している。また、系列店舗へも報告をし、改善点については様々な意見を取り入れられるようにしています。	保護者様がご不安を抱かないように今後もより一層注意を払ってまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	毎月、行事カレンダーや不定期で店舗通信を配布。ブログにも情報を発信している。	内容をより充実したものにできるよう改善していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1	職員に対しては雇用契約時に秘密保持契約を交わり、個人情報取り扱いの注意喚起を徹底している。ブログ等の写真は、人物が特定できないよう配慮している。	保護者様がご不安を抱かないように今後もより一層注意を払ってまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	児童の特性に合わせた視覚支援や意思伝達カードを使用している。保護者様へは、連絡帳やお手紙、メールにてお伝えしています。	ご要望により情報伝達について改善策を考えてまいります。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	地域の方にイベントに協力して頂ける機会がありました。	より深い関りがもてるようなイベントの企画を行っていきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	定期的に災害を想定した訓練を行っています。	完全施設という事もあり、防犯訓練についての訓練が少なかったため今後はしっかり取り入れていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	BCPは策定しております。	定期的に訓練を行っていますが今後は保護者様にも訓練のご理解、ご協力が得られるよう、発信とお願いをしています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	保護者を通して、医療機関からのアレルギー発作時の対応をお聞きし、緊急時のかかり付け医院、保護者連絡先を記録し保管しています。	発作を想定した対応についての周知徹底を定期的に行っていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	保護者を通して、医療機関からのアレルギー発作時の対応をお聞きし、緊急時のかかり付け医院、保護者連絡先を記録し保管しています。	緊急事態を想定した対応についての周知徹底を定期的に行っていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	安全計画は策定しております。各職員が手取り直ぐに確認ができるようにしています。	安全管理については店舗内だけでは不備に気づきにくい点もあるので外部からの視点で安全管理について再チェックをしてもらう機会を設けていきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	大規模災害時の安全確保について連携がとれるよう、月1の訓練時には伝言ダイヤルや避難先について、連携の取り方を連絡帳にて発信しております。	希望に応じて保護者様を交えた避難訓練も検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で共有し再発防止に努めています。	共有だけでなく改善策についての話し合いも深めて再発防止に努めていきます。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	虐待防止委員会による研修を行っています。職員のメンタルに気を配り、何でも相談し合える環境になるよう職員間のコミュニケーションを大切にしています。	虐待防止について日々の中での気づきを共有したり事業をもとに話し合う機会を定期的に店舗内で設けていきます。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	身体拘束の該当者なし。	該当者が出た場合は、社のマニュアルに従い十分な配慮を行い、関係機関との連携をとり行っていきます。	